

「三重県総合教育センター メール通信」

第5号（平成29年2月20日発行）

本年度の研修を振り返って

本年度の研修講座を振り返り、その一部を紹介します。今後の研修講座への受講にぜひ参考にしてください。

<基本研修>

◆授業実践研修◆

～授業力の向上と、主体的・自主的な研修をめざして～

授業力の向上をめざし、初任研、6年次研、経験11年次研の先生方が、校種別教科別の研修班単位で授業研究を進めてきました。今年度は、授業改善に向けて、受講者が主体的に取り組む力をつけ、学校での自主的な研修への意欲につなげることをめざし、授業研究の発表方法を自らの課題に応じて選択し、日程や研修内容を班で話し合っ

て決定しました。また、重点的な取組として、研修班のテーマに沿った授業研究と、めあての提示と振り返りの活動の充実を行っています。公開授業や実践報告をもとに協議を重ねる中で、課題を明らかにし、具体的な改善策を考えます。経験年数の違う方や他校の方の意見から、新たな気づきを得て、継続的に授業改善に取り組むことは、必ず子どもたちの学力の向上につながっていくと考えています。



=受講者の声=

- 6年次研、経験11年次研の方からの的確なアドバイスをいただいて勉強になった。10人いたのでそれぞれ学年が違って、いろいろな話が出て活発な話し合いができた。どの先生もとても優しく温かい雰囲気が進んでよかった。教材の工夫や発問の仕方など具体的に教えていただいたので実践していこうと思った。また、日々の悩みや意見を交流できて気持ち楽になった。研修テーマに向かって、これから頑張っていきたい。
- 初任の方がどのような場面で困っているのかを聞くことで、自分も同じような経験をしてきたことを振り返り、解決の糸口をお伝えすることができた。今一度、初心に戻って、今活用している教育技術の意味を確認することができた。また、他の方々の指導法などを聞くことで、視野が広がった。
- 自分の教科の教員は、各校に1人しかいないことが多く、日常の中で、授業内容について意見交流をすることができない。このような研修の場で、1つの指導案をもとにして、その授業の良い点・課題点などを洗い出すことができるような機会が普段ないので、非常にありがたい研修である。

<教科等研修>

◆小学校理科基礎実験研修◆一教科書の実験を題材に一

【三重県小学校理科教育研究会との連携講座】

7月25日(月)に県総合教育センターにおいて、三重CST教員を講師に迎え、小学校理科実験の基本や指導のポイントについて研修しました。教科書に載っている基本的な実験にちょっとした工夫を加えることで、より効果的な実験ができることを学びました。



<扱った実験>

「水の沸とう」「ものが水に溶けるということ」
「水溶液の重さ」「顕微鏡の使い方」

今年度中には、三重CST教員によるネットDE研修「すぐに使える小学校理科基礎実験」を公開する予定です。来年度以降も、ネットDE研修で紹介する実験を増やしていくこととしていますので、是非ご活用下さい。

※CST：コア・サイエンス・ティーチャー

県教育委員会では、三重大学と共同でCST教員の養成を実施しています。これまでに38名の方がCST教員に認定され、学校現場等で活躍されています。みなさんも、「三重CST養成プログラム」を受講してみませんか。(平成29年度の募集要項は2月下旬に案内する予定です。)

<情報教育研修>

◆教員ICT活用指導力向上講習会◆

夏期休業中に県総合教育センターおよび県内各所で7回の「教員ICT活用指導力向上講習会」を実施しました。内容については、情報モラル、情報セキュリティの講義と、児童生徒の情報活用能力を育成する指導について、主体的・対話的な学びの方法を取り入れ、演習を行いました。

校内研修会等で還流し、教職員のICT活用指導力と児童生徒の情報活用能力の向上を目指します。

<教育相談研修>

◆教育相談ベーシック研修◆

子どもたちの心の理解と対応について、心理臨床的な視点から学ぶ講座として「教育相談ベーシック研修」を実施しました。こころの専門家である講師から多くの示唆をいただきました。

=受講者の声=

- 気になる子どもの「ことば」や「行動」の奥にあるものを考えていきたい。周りの教員、SCにも相談しながら、早期に対応していきたいと思う。
- 様々な教員がそれぞれの立場でかかわることや、お互いの立場や思いを尊重しつつ、教員同士の関係性を高めることの必要性を感じた。お互いの役割を理解し合うということにとっても共感でき、また安心できた。

次年度に向けて

～学校のミドルリーダー対象研修(連続講座)のご案内～

平成23年度から実施している「学校改善活動ファシリテーター養成研修」及び「授業研究担当者育成研修」を平成29年度から名称を改め、内容をリニューアルして実施します。よりよい学校づくりや授業づくりの充実に向け、これらのミドルリーダー対象の研修を、ぜひご活用ください。両研修とも年度内に案内します。詳細は実施要項等をご覧ください。

NEW

①「学校マネジメントミドルリーダー育成研修」



<目的>

管理職とともに目指す学校像実現に向けた改善活動を先導し、よりよい学校・学級づくりを推進する中核的な人材(ミドルリーダー)を育成することにより、すべての公立学校の自立的な改善活動を促進する。

<主な研修内容>

- 全4回 ○学校改善活動の基礎知識、改善テーマに基づく戦略マップの作成
- チームづくりのポイント、アクションプランのブラッシュアップと策定
- ファシリテーションスキル、アクションプランの実践の中間評価と改善
- アクションプランに基づく実践発表 等

NEW

②「授業研究推進リーダー育成研修」

<目的>

児童生徒の学力向上・定着を図るため、授業研究を中心とした校内研修の企画・運営を推進するリーダーを育成し、教員自らがアクティブ・ラーナーとして相互に学び合う組織づくりや研究推進を行うことで、教員一人ひとりの授業力の向上を高め、授業改善につなげる。

<主な研修内容>

- 全4回 ○授業研究の企画・運営のポイント、アクションマップの作成 等
- アクティブ・ラーニングについて考える 等
- 授業研究会のデザインを考える 等
- アクションマップに基づく実践の交流、次年度の研修に向けて

●●●ネット DE 研修新規公開講座のご案内●●●

2月22日(水) 配信決定!

<講座名>

『コミュニティ・スクールの可能性を追究する
～授業を開く：「人材育成ユニット研修」の取組～』

<内容>

コミュニティ・スクールの機能を生かし、地域に授業を開くことで、「校内研修の活性化」と「人材育成」につながる研修システムを構築した山口県萩市の取組を学ぶことができます。ぜひご活用下さい。



このメール通信は、教職員研修に関する様々な情報を定期的にお届けするために発行しています。ご要望等ございましたら、研修企画・支援課までお寄せください。

三重県総合教育センター メール通信 平成28年度 第5号

発行元 三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課 企画・支援班

電話：059-226-3731 FAX:059-226-3706 E-mail:kenshien@pref.mie.jp

三重県総合教育センター Webページ <http://www.mpec.jp/>

